

取組テーマ	取組目標	具体的な活動内容	担当者	活動主体	取り組んだこと、その実績	1年を振り返って	
環境についての学習	・自然に親しみ自然を大切にす気持を養う。 ・昆虫の観察を通して、自然への愛着を育む。 ・自然の恵みを楽しむとともに、生活の中に活かす気持ちを養う。 ・身近な自然への興味関心を高める。 ・稲作体験により、食と自然環境の関わりについて関心を高める	1	育てよう(個人の鉢や、学年の花壇を利用し植物を育て、その生長を観察するとともに、自分たちの生活にいかす。	1年・2年担任	1,2年	【育てよう】 個人の植木鉢や学年の花壇で草花を育て、その生長の様子を観察し、自分たちの生活にいかす。サツマイモ、ミニトマト、カブ、アサガオ、パンジー。 →学年園を利用し、多くの植物を育て、観察できた。また、地域の方を招聘し、その方の畑をお借りして、サツマイモ、カブを育て、収穫した。保護者の方にも協力していただき、スイートポテト、カブのお味噌汁作りを行い、自分たちで育て、収穫、調理し、いただく体験を通して、自然に親しみとともに、自分たちの生活に生かそうとする気持ちをもつことができた。サツマイモもカブも、全校に給食で提供するほどの収穫があり、他学年にも興味を持ってもらうことができた。	【取組の評価】 <input type="checkbox"/> 達成できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 多くの植物・虫の観察ができ、収穫の喜びも実感できた。給食で、全校に提供することで、育てるに関わらなかった学年にも、自然と食に関する関心を持たせることにつながった。「育てよう(稲)」は、他の活動に変更したため、おこなわなかった。限られた時数の中で、活動を精選しなければならない。 【今後の課題】 各学年での連携をとって、引き継いでいくこと。(地域の方の協力に関しても、引継ぎが必要) 【次年度への引継ぎ事項】 畑をお借りした地域の方との連携を学校としてできる範囲で継続していきたい。
		2	虫を観察しよう 実を使って楽しもう (探す、拾う、おもちゃ作り)	1年・2年担任	1年 2年	【虫を観察しよう・実をつかって楽しもう】 中庭にいる昆虫の観察。 遠足でいった平塚総合公園で拾った木の実を使って、工作をした。 →身近な自然への関心を高めることができた。 →拾った木の実を使って工作することを通して、自然を生活に取り入れ楽しむ気持ちをもたせることができた。	
		3	小出川散策	3年担任	3年	【小出川散策】 小出川周辺を散策し、小出川周辺の自然を観察した。 →地域の自然への関心を高めることができた。	
		4	育てよう(稲)	5年担任	5年	【育てよう】 今年度、田んぼを借りて稲を育てる活動はおこなわなかった。	
電気、水、物を大切に使う活動	・電気を大切にすることを、日常生活から学ばせる。	1	節電(教室の電気を天候に合わせて使う)	1年~6年担任	全校	【節電】 天候に合わせて、空調の設定温度を調整する。 移動教室の際に、電気を消すよう、児童に意識づけた。 →引き続き行い、意識を高めていきたい。	【取組の評価】 <input type="checkbox"/> 達成できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 空調、電気の消し忘れが、まだ、たまにある。

(様式1) 学校エコ活動シート

	<p>・水の循環の学習を通して、水をきれいにすることの大切さを知り、水を大切に使う意識を育む。</p> <p>・自分の持ち物を大切に使い、学校での落とし物・忘れ物がそのままゴミにならないように意識させる。</p>	2	節水(寒川浄水場を見学する)	4年担任	4年	<p>【節水】</p> <p>寒川浄水場の見学には行かず、環境事業センターの見学に変更になったが、社会科の「水はどこから」の学習を通して、水の大切さについて学び、水を大切に使う意識を高めた。</p> <p>→今後も、学習を通して水の大切さを意識させるとともに、日常の声を続けていく。</p> <p>自分の持ち物を大切にしよう呼びかけるとともに、持ち物に記名するよう呼びかけた。</p> <p>落とし物コーナーの整理を児童がおこない、落とし物の多さを実感していた。</p> <p>→来年度も引き続きおこなう。</p>	<p>【今後の課題】</p> <p>落とし物が、減らない。</p> <p>【次年度への引継ぎ事項】</p> <p>引き続き全校での活動を継続していく。</p> <p>教職員だけでなく、児童の意識を高めるために、節電・節水・落とし物を減らす対策について、委員会活動などを通して児童を関わらせるようにする。</p>	
		3	全児童に自分の持ち物を大切にしよう呼びかける	1年・2年担任	全校			
		4	電気自動車体験学習 ※年度当初の計画にはなし。追加項目	5年担任	5年			<p>【電気自動車体験学習】</p> <p>企業が企画している「わくわくエコスクール」(電気自動車体験学習)を行った。</p> <p>→電気自動車(エコカー)についての体験学習を通して、電気を大切にすることが、環境問題の改善につながることに気づき、節電の意識を高めた。</p>
		1	ゴミの分別	1年～6年担任	全校			<p>【教室で出るゴミの分別】</p> <p>燃やせるゴミ、プラゴミを日常的に意識して分別する。</p> <p>→来年度も引き続き行う。</p>
捨てるゴミを減らす活動	<p>・ゴミを資源として活かす心を育む。</p> <p>・</p>	2	美化活動	1年～6年担任	全校	<p>【美化活動】</p> <p>清掃活動を各学級丁寧に取り組んだ。環境委員会で、特にきれいに清掃できた学級を知らせる活動を通して、生活の場をきれいに保とうとする意識を高めた。</p> <p>→来年度も引き続き行う。</p>	<p>【取組の評価】<input type="checkbox"/>達成できた <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ達成した <input type="checkbox"/>達成できなかった</p> <p>【理由】</p> <p>ごみの分別や清掃活動は、委員会、クラスで活動することができた。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>全校の意識づけが十分でなかった。</p> <p>学年やクラスの取組みを全校にひろげていくようにする。</p> <p>【次年度への引継ぎ事項】</p> <p>委員会活動を中心して、全校を巻き込んだ活動をしていく。</p>	
		3	環境事業センターの見学 ※年度当初の計画にはなし。追加項目	4年担任	4年	<p>【環境事業センターの見学】</p> <p>社会科の「ごみはどこへ」の学習の中で、環境事業センターを見学し、センターの方のお話を聞くことを通して、ゴミを減らすこと、分別する意識を高めた。</p>		
		4	ビーチクリーン活動 ※年度当初の計画にはなし。追加項目	4年担任	4年	<p>【ビーチクリーン活動】</p> <p>総合の学習で、サザンビーチに行き、ごみひろいをおこなった。ひろってきたゴミを分別し、ボランティアゴミとして環境事業局の方に回収していただいた。</p> <p>→ゴミの多さの気づきから、今後ゴミを減らす活動につなげていきたい。</p>		
		1	ゴミの分別	1年～6年担任	全校	<p>【教室で出るゴミの分別】</p> <p>燃やせるゴミ、プラゴミを日常的に意識して分別する。</p> <p>→来年度も引き続き行う。</p>		

●写真等の記録:活動や発表の風景等取組の記録を、必要に応じて添付してください。写真等の下に、キャプションをご記入ください。個人情報の取り扱いにご注意ください。

●学校長(推進責任者)によるコメント

【学校長名】

日高 大司郎

【今後の方向性について】

環境問題については、環境負荷を減らせる取り組みとして、一般に広く正しいと言われている中でも、その実情はそうではない事が多々見られると感じている。だから、小学校段階において重視すべきは、自然との共生の大切さと自分たちがこの環境を守りたいという意識の涵養である。その意味で言えば、現在の各学年の取り組みを途切れさせず継続することを第一の方向としたい。

また、今年度も各学級で、子どもたちがもった問題意識を追求し、具体的なアクションとして行った取り組みがあった。ここで必要になるのは、環境問題に対する教員の多面的な物の見方、正しいと言われていることが本当に正しいのかを見極められる正しい知識だろうと考えている。教員たちが環境についての意識を高めることと同時に、子どもたちがもった問題意識に対して、どのようなアクションが妥当なのかをきちんと見極め、本当に環境に「よい」活動を子どもと一緒に探求する姿勢をもつことを第二の方向としたい。